

授業科目名 (ナンバリングコード)	韓国語①② (111A0-2301)		授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)					
担当教員名	李 賢雄					補助担当者名						
単位数	2 単位		履修年次	① 1 年次、②2年次		受け入れ人数	40名程度					
授業の概要	韓国語を基礎からきちんと学びたい、韓国人との簡単な日常会話を楽しみたい、韓国の文化への理解を深めたい学生を対象に授業を行い、異文化への興味関心を持つことを期待する。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法								
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %			
			授業	テスト	レポート	発表						
			○			○				○		50
			○		○						20	
■認知的領域	この科目を学ぶことにより、ハングルの読み書きができる。	○			○	○		50				
■情意的領域	韓国の文化を学ぶことにより異文化への興味関心を持ち、他者へ説明ができる。	○		○				20				
■技能的領域	基礎文法及び表現を学ぶことにより、簡単な日常会話ができる。	○	○					30				
成績評価の基準	・成績認定の必要条件は、2／3以上の出席率（出席回数10回以上） ・定期試験 50%、小テスト 30%、課題 20%の各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。											
テキスト、教材 参 考 書	・テキスト：「楽しい韓国語（入門・初級）」、大坪 裕子・小林 寛・金 敬鎬 共著、2020年、博英社 ・参考書：「あいいうえおから始める書き込み式ハングルBOOK」、栗原 景 著、2012年、成美堂出版											
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)		・毎回、前回学習した内容について小テストを行う。 ・テキストに沿って授業を行うので、必ずテキストを準備し、予習をしておくこと。 ・学習した内容をレポート課題(プリントを用意)として出し、次回に回収、チェックをして学生に返します。							
オフィス・アワー	質疑等は授業後、若しくは以下のメールにて受けます。 satsuma0509@naver.com											
授業計画												
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	李 賢雄	オリエンテーションとハングル字の学習（基本母音）				基本母音字の書き（40分）						
2	〃	ハングル字の学習（子音：平音）				子音字の書き①（40分）						
3	〃	ハングル字の学習（子音：激音・濃音）				子音字の書き②（40分）						
4	〃	ハングル字の学習（二重母音）				二重母音字の書き（40分）						
5	〃	ハングル字の学習（パッチム）				パッチムの書き（40分）						
6	〃	ハングル字の復習と発音矯正（連音化・鼻音化・濃音化・激音化）				発音矯正の書き（60分）						
7	〃	日本語のハングル表記法&電子機器のハングル入力の仕方				47都道府県のハングル表記の書き(60分)						
8	〃	第1課 挨拶と??紹介について（文法と応用）				新しい表現と単語の書き（60分）						
9	〃	第2課 職業について（文法）				新しい表現と単語の書き(60分)						
10	〃	第2課 職業について（応用）				練習課題（30分）						
11	〃	第3課 ショッピングについて（文法）				新しい表現と単語の書き(60分)						
12	〃	第3課 ショッピングについて（応用）				練習課題（30分）						
13	〃	第4課 飲み物について（文法と応用）				新しい表現と単語の書き（60分）						
14	〃	第5課 天気について（文法と応用）				新しい表現と単語の書き(60分)						
15	〃	韓国映画鑑賞（鑑賞後感想文を提出）				総合練習課題（30分）						
16	〃	学期末試験										